

看護連携新聞

令和3年 春号

感染症予防で自由に外出できず家族と向き合う機会が増えていると思いますが、家族や身近な人が認知症になってしまったら心配ごとが増えてしまいます。早期に治療ができれば進行がゆるやかになります。認知症に関することも地域包括支援センターに相談できます。



〈地域包括支援センターとは〉

住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、さまざまな方面から高齢者を支える機関として下記の業務があります。相談は無料です。

- ・介護保険の申請代行。要支援1、2の介護予防ケアプラン作成
- ・介護保険サービスの利用時のケアマネジャー紹介
- ・個人の権利を守るため行政の協力の元に制度を活用
- ・地域のネットワークづくり（地域住民・医療・介護・福祉など）
- ・認知症の理解者を増やす認知症サポーター養成講座を開催
- ・介護予防教室の協力・手伝い
- ・引っ越してきたばかりで地域の活動が知りたい方にサークル活動の紹介 等
→ 様々な高齢者の相談に応じています



《地域包括支援センターには 認知症地域支援推進員がいます》

認知症地域支援推進員は認知症の方やその家族をサポートする人です。

認知症について初期集中支援チームによる支援活動を行うこともできますので、認知症についての悩みを一人で抱え込まず、解決に向けて一緒に考えてくれます。

足利市には認知症疾患医療センターが2か所あり、かかりつけ医がいなくても認知症の診断、治療が身近でできます。

～編集後記～

認知症は特別な病気ではなく、私達自身や家族、身近な誰でも起こりうる病気です。自分の身の回りの事は自身でやりたいという気持ちは皆あります。前号の運動療法デュアルタスクを行うことで、早期なら認知機能の改善がみられる場合もあります。認知症や高齢者になっていく心配ごとの相談先として地域包括支援センターがあるとご理解いただけると幸いです。次回もお楽しみに！



社会福祉法人

社会福祉法人 美明会
看護連携委員会